



やましな 通信 10月号

2019年

やましな訪問看護リハビリステーション

WWW://yamashina-ho.com/ ☎ 050-6865-7757



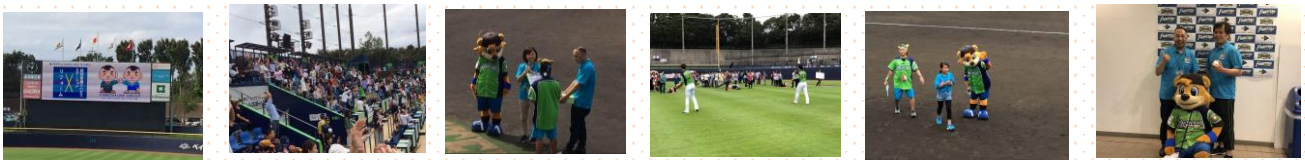
9/22 鎌ヶ谷 やましなデー 盛大に

真夏の暑さが続く9月22日の日曜日、鎌ヶ谷スタジアムではイースタンリーグ公式戦の日本ハムV S ジャイアンツが、「やましな訪問看護リハビリステーション」がメインスポンサーとなって行われました。「やましなデー」となったこの日、試合前からスタジアム周辺では多くの人で賑わいました。



台風17号が関東地方をかすめるのではないかと予報もあり、悪天候が予想されていましたが、当日は朝から青空がのぞく好天に恵まれました。スタジアム前の広場には、地元の作家さん達による「フェースペインティングのお店」やベースボールをイメージデザインとした「皮革工芸のお店」が並び、この期間に並行して行われていた北海道物産展の飲食店や子供向けバッティングゲーム、スピードガン測定投球ゲームのイベントあって、朝から大勢の家族連れで大賑わい。また、タップダンスチーム「しるこもるげん」が歌と軽快なダンスを披露して会場を盛り上げました。

試合前のスタジアム内では、やましなご招待の皆様や一般参加者によるベースランニングや守備紹介スターターのイベントが行われました。また、PRタイムでは、当ステーションの山品社長と大懸看護師がカビくんとともにグラウンドに登場し、やましな訪問看護ステーションの活動をアピールしました。晴れの始球式は、理学療法士、上田氏が担い、事前練習の甲斐もあって見事「もうちょっとでノーバウンド」投球を見せました。試合後は、選手とのキャッチボール等ができるふれ合いイベントもおこなわれ、楽しい一日となりました。この日の入場者は2,700名で、鎌スタ年間入場者数8万人を突破したとのことでした。

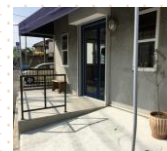


「やましな」おすすめのお店

manana bagel (マナナベーグル)

鎌ヶ谷に来て6カ月。だいぶ街にも慣れ始め、色々なお店も目にとまるようになってきました。訪問の途中で、いつも気になっているお店がありまして、勝手に今流行りのタピオカミルクティのお店と思って立ち寄ってみたら、ベーグルのお店でした(笑)王道のプレーンとラムレーズンを購入。すっごくモチモチしていて、今まで食べたベーグルの中で1番美味しかったです。それから何度か通ってますが、この前はピーツのベーグルを購入。ピーツがどんな味が分からないまま食べたのですが、とっても美味しかったです。いつも仕事帰りに立ち寄るので、並んでいるベーグルの種類は限られていましたが、オープン時に行くと沢山の種類が並んでいるそうです!店主さんも、とっても笑顔の素敵な優しい方です。息子さんと親子2人で営んでいます。ベーグルが苦手だな〜って思う方も、一度食べてみてください! やみつきになりますよ! YO

「manana bagel」鎌ヶ谷市道野辺中央1-10-12 TEL 047-442-6700
 営業時間: 0900-1830 定休日: 日・月・火
 駐車場車なし、近所のパーキングをご利用ください



鎌ヶ谷駅から徒歩5分ほど



お店のロゴがかわいい入口ドア



種類は豊富、噛むほどおいしい



抹茶、全粒粉にプレーン



ごぼう昆布チーズとカレーチーズ

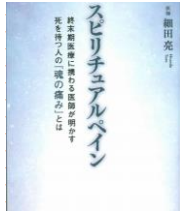


モチモチの食感

やましなおすすめの本

細田亮 著 「スピリチュアルペイン」

幻冬舎 800円(税別)



鎌ヶ谷市の「くぬぎ山ファミリークリニック」の院長として在宅医療に奔走されている細田亮先生が7月に上梓された本です。先生は、血液の専門医としての勤務医時代から現在に至るまで、終末期の患者の苦痛の一つである「スピリチュアルペイン」と向き合い、どのようにしたらこの痛みを和らげることができるかについて考えて来られました。その模索の過程を一実人間の根源に関わる哲学的な内容の書ですが一この本はとてわかりやすい言葉でまとめられており、医療・介護に携わっている方はもちろん、患者やその家族となる可能性がある一般人にとっても多くの示唆に富んでいます。ぜひ多くの方に読んでいただきたいと思います。私自身も、先生の事例の追体験を通じて将来の自分に対してなにか覚悟のような安心感のような、心構えが生まれたような気がしています。

人間は重病など機器に直面すると「生きる意味はどこにあるのか」「なぜこんな目にあうのか」というスピリチュアルペインに見舞われます。そもそも終末期には「身体的な苦痛」のほか、仕事や人間関係などの悩みから生ずる「社会的苦痛」、不安やうつからくる「精神的苦痛」がありますが、これらの苦痛にはすでに対処する方法が確立されています。例えば、身体的苦痛や精神的苦痛には、緩和ケアなど医療的な対処方法があり、近年では医療技術の進歩により大幅に改善されていますし、社会的苦痛にはソーシャルワーカーや公的機関が相談に乗ってくれるなど対処方法があります。しかし、人生の意味、罪の意識など、つかみどころのない「スピリチュアルペイン」には、対処方法はいまのところ手探りの状態で、医療介護に携わるすべての人たち共通の悩みとなっています。しかも、スピリチュアルペインは、患者だけでなくその家族や、介護医療に携わる周囲の人にも波及する、つまりスピリチュアルペインを軽くすることは周囲の人も苦痛から解放されることだ、と先生は説きます。

先生が出した結論は、スピリチュアルペインには共通のマニュアルはないということ、です。これは、村上靖彦氏が「在宅無限大」で看護師の言葉として語っている「在宅のあり方は無限」に共通するものがあります。しかし先生は、対処の原則らしきものは示唆されており、それが「傾聴」です。つまり、相手の話にじっと耳を傾ける。ただそこにとともにいる、その人が発した言葉を正そうとしたり、変えようとするものではない、という接し方です。そうすることで、話しているほうは心がやすらぎ、自分で答えを見つけ出していこうとするものだそうです。

この傾聴を、誰が担うのか、どのタイミングで行うのよいか、これは文字通り在宅無限であり、千差万別で、これこそが看護や介護に携わる者達、また家族にとっての課題であると思われます。この本でも触れられていますが、先生の医院では、臨床宗教師をチームに加えて、先生や看護師が必要だと思われる人に対してケアに当たっておられるとのこと、これからの在宅医療のあり方を実践として示されています。

第6回介護セミナー決定!

11/21 「相続に関するルールの変更について」

やましな介護セミナーの日程とテーマが決まりました。今回は、社会の高齢化に対応して38年ぶりに改正された相続に関するルールの変更点について辻章嗣氏がわかりやすく解説します。お申し込みは当ステーションまで。

とき：11月21日(金) 18時~20時

ところ：当ステーション2階ヤマシナ会議室

ステーションの近況



医療スタッフ

看護師	13名
理学療法士	3名
作業療法士	2名
言語聴覚士	2名



9月末日現在



〒273-0123 鎌ヶ谷市南初富6-5-65

(株)ヤマシナ商事 1F

(事業所番号：1262690089)

TEL 050-6865-7757

FAX 050-6865-7758

MAIL yamashina.houmon@yamashina-ho.com

